

# 議会だより

2023.5.25 No.206

も く じ

- 表紙 むつみ第二保育園訪問  
2P 令和5年第1回定例会  
主な議決事項など  
3~11P 一般質問  
(4P 質疑より)  
12~13P 予算審議ほか  
14P 移住者の声



遊びに夢中な1歳児たち

## むつみ第二保育園

園の玄関を入ると目の前はホールで、年中さんは椅子取りゲーム。年長さんはクラスの部屋で鯉のぼりの制作中。上手に水彩絵の具で色を塗っています。

入園から2週間あまりたち、1歳児から5歳児までひとりも我が家を恋しがらずに遊んでいる姿を見ると、きっと保育園は楽しいと思っ

ているのでしょう。園児たちの姿に私も思わず微笑んでしまいますが、保育のお仕事は体力勝負だとお察しします。豊かな自然の中で散歩するのも楽しそうですが、屋内でも屋外でも精神的な負担は大きいことでしょう。現在深刻な保育士不足と聞きました。すでに保育士の資格をお持ちの方、少しでもお手伝いしていただけたらありがたいなあと思いました。

まだオムツの取れない園児の使用済みオムツは、園で適正に処理されているそうです。持ち帰るところもあるとメディアでの報道もあったので、伺ってみました。

(取材者 山下則子)



議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>

# 予算は通ったけれど…もの言う議会に

## 3月定例会

## 令和5年度一般会計予算 115億円

3月議会は主に令和5年度予算を審議する議会。1日は町長の令和5年度に向けた施政方針が示され、その後令和4年度の補正の審議があった。14日には施政方針を受けて9人の議員が一般質問し、続いて令和5年度一般会計予算の審議が行われた。

### 入札不調による事業の遅れや町職員の不足も

補正予算の審議の中では、7千万円の地方交付税増額の使途や、町営住宅の条件緩和について要望があった。ポットホールの整備事業が中止になったことへの不満も噴出した。一方、町へのふるさと納税より島外への納税の方が大きかったことや、出産・子育て応援ギフトが対象者にカタログで10万円分給付されることも報告された。全体を通して、入札の不調に

よる事業の遅れが目立ったことや、町職員の不足などに議論が集中し、町の抱える課題が明らかになった。

### 一般会計大幅な伸び 対前年度比17・8%増

令和5年度一般会計予算は、税収9億円に対して27億円の地方交付税、都支出金31億円、基金の取り崩しが17億円（前年度より10億円増加）などで合計115億円と令和4年度と比べ17・8%増額されている。歳出では、新クリーンセンター建設に25億円をはじめ、防災無線デジタル化工事、雇用機会拡充事業などに多くの予算が拠出される。

また、入札不調が度重なった歴史民俗資料館整備事業は今後も課題を残していることや空き家対策の遅れなどが指摘された。継続の

重要課題としては、雇用機会拡充事業や移住・定住支援事業があげられる。また、3か年で5億円の東京宝島サステナブルアイランド創造事業については、額が決まっているのに事業内容と配分が明らかでないことに多くの議員が疑問を呈した。

一方、新規事業として、高校生などの医療費助成が実施されること、農業DXと畜産DXとして農業のデジタル化の推進がはかられることが注目される。懸案だったアシジロヒラフシアリ対策については、坂上3地域から全島に拡大し一斉防除試験が実施される。

また、企業会計の水道料金改正条例についても執行部の進め方に対する疑問が出て、結果として来年度予算は通ったものの、反対する議員も複数出て波乱含みの議会となった。

(12、13ページに審議の詳細)

### 主な議決事項

#### 3月定例会

令和5年3月1、14、15、30日

◎令和4年度八丈町一般会計補正予算  
ほか補正予算7件

◎八丈町立富士中学校特別教室等空調  
設置工事請負契約 ほか契約の変更3  
件

◎人権擁護委員の推薦につき意見を求  
めることについて

◎令和5年度八丈町一般会計予算 ほか  
予算7件

◎八丈町営住宅条例の一部を改正する  
条例 ほか条例7件

◎八丈町火葬場の指定管理者の指定に  
ついて ほか指定1件

◎損害賠償の額の決定について

◎議員の派遣承認について（令和5年  
度東京都町村議会議員講演会） ほか  
派遣承認4件

◎八丈町辺地総合整備計画の策定につ  
いて

### 主な会議

#### 議会運営委員会

令和5年2月22日、3月10日

◎令和5年第一回八丈町議会定例会に  
ついて

# 一般質問

3月14日 質問者9人

各質問者の録画映像はインターネットでご覧いただけます。掲載文中、表現が硬くなっている部分ありますがご了承ください。



かながわ たかゆき  
金川 孝幸 議員

## 公営企業の収益改善努力について

八丈町の公営企業は町立病院やバスなどの事業を行っているが、いずれの事業も大変厳しい経営状態にあり、赤字の額を減らすさまざまな努力を行っている。民間とは違い、赤字だからと廃業や大幅な値上げで収益を改善することはできない。そのような中、職員は建物の周りに花を植えたり、クジラをデザインしたバスの導入などさまざま

な工夫をしている。

公営企業の職員は公務員である一方、民間企業に近い収益を意識した仕事が求められ、職員の能力を活かすことを期待し、私の見てきた事例を参考に組み合わせられないか質問する。

問 御蔵島では水売り出し好評である。八丈島の水も美味しいので商品化を検討しないか。

答 企業課長 島の水は美味しいと思うが、現状では知名度は低く商品化は考えてない。

問 旧役場庁舎裏から大中上交差点にかけて勢いよく水が流れている。この水流を活かし大賀郷公民館など町の施設に小型の水力発電装置を設置し、日常の電力消費削減や災害時の停電対応に使えないか。

答 旧役場裏の水は浄水場のオーバーフローした水を流している。水量は一定して少なくないので、水力発電には費用対効果の面からむずかしい。

問 民間の赤字の鉄道会社ではユニークなデザインの電車のチョロQなどを販売しているがクジラバスも参考にしないか。

答 いくつかの他事業者で販売しているが、最低ロットが6千個と多く、経営にプラスになる売上はむずかしいので新たな投資は考えてない。職員からの提案については今後も活用していく。



クジラのイラストが描かれた町営バス

問 公営企業である都の水道局

では水道水のペットボトルを販売した例もある。また、水力発電については町長の施政方針を聞き、防災対応に加え、力を入れていく東京宝島サステナブルアイランド事業の募集要項や八丈町基本構想には自然環境を活かしたクリーンエネルギー関連の項目もあるが、来年度の予算には見当たらない。クラウドファンディングを使うなど予算がないからと諦めないで努力をしてほしい。チョロQの件は頭の柔らかい小学生の発案でもあるので考えてほしい。

問 町長 バスの職員はコロナの影響のある中で島を元気にしようというアイデアを出すなど努力している。水力発電については町の水道事業は老朽管の改修がままならない状況に加え、大川浄水場の改修など大型の事業の対応に追われている。御蔵島の水は農業用水関係からの予算を利用した成功事例であるが、現状では取り組む余力はない。クリーンエネルギーについては新たな蓄電池の開発を見据えて取り組んでいく。



あさぬま きよたか 議員  
浅沼 清孝

空港駐車場について

○2月9日の全員協議会で改善できないか質問したら、八丈支庁で検討するため直接支庁へ問い合わせしてほしいとの回答だったが、すでに1月に2回支庁に伺っている。町はこの問題に関与しないということか。

○企画財政課長 八丈島空港は八丈支庁港湾課が管理し、駐車場については工事を行い利用台数が大幅に増加した。出迎え専用待機場がなくなったことで利用しづらい状況が生じたため、通行ルートのサインを工夫するなどの対策をするとの連絡を受けている。町からも引き続き要望したい。

低所得者に対する給付金の支給について

○1月17日に支給されたと聞いているが、正月前に何故支給できなかったのか。町長は知っていたのか。知っていたとすればどのような指導をしたのか伺いたい。

○福祉健康課課長補佐 この給付金は、電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援給付金。対象者は令和4年度住民税非課税世帯で、1世帯あたり5万円の支給となる。給付金を支給するにあたりシステムの改修が必須であるが、システムの改修に時間がかかってしまったことが主な要因となる。町長からもこの給付金に関してはなるべく早く支給するよう指示を受けていたが、システムの改修は町では行えないためご理解願いたい。

○システム作りの遅れの原因は見積もりが遅れたためと聞いたが、何社に見積もりを依頼したのか。1社だけだとしたらな

ぜ1社だけなのか。

○システムについては、今使っているシステムを改修しなければならなかったため、見積もりは1社となる。見積もり依頼

は、国から給付金の通達があった際、すぐに行ったが、全国事業のため、システム業者も混乱しており、見積りがすぐに出なかった。

質疑より

デマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の試験運行について



浅沼碧海議員 島の規模で考えると可能性のある事業だと感じたが、坂上・坂下地域において利用方法に差異があり、坂下に比べ、坂上は正直路線バスと変わらずデマンド機能がほとんど活かされていない。もう少し住民に寄り添ったサービスが行えれば良かった。

企業課長 試験結果の報告を聞くところ、坂上の利用は少なく、年齢層は若者の利用が多かった。今後はルートの検討が必要ではないか。

○奥山幸子議員 高齢者にとってはアプリの登録ですら大変だった。サステナブルアイランド事業でデジタル部分の改善協力はできないか。

副町長 アプリは既存のものなので難しいが、スマートディスプレイ関連で対応の可能性を探ること

は可能だと思うので、工夫の検討はできると考える。

真田幸久議員 他の自治体で実施されたものでは、収益性の問題などから実証実験で終わるパターンが非常に多い。当該事業は都の事業であるが、町としても便利さだけではなく、コストとの関連で情報を住民に開示し検討していくべきでは。

副町長 今回は無料での試験運行だった。今回は採算性の問題や利用頻度、利便性の検討が行われるのではと思われる。

浅沼隆章議員 次回はデマンド事業と路線バスとの住み分けをしっかりと行ってほしい。一緒になってやることで初めて改善されると考えている。

企業課長 路線バスとの住み分けは町にとっても収益に関わってくる部分である。ルートの問題などを検討したい。



さなだ ゆきひさ 議員  
真田 幸久

町長施政方針について

問 今回の施政方針においては、政策体系に基づく説明はされているが、議会向けだけではなく、住民に対しても、広報などをを使って、政策体系に基づくストーリーや具体的な金額を、重点施策・事業についてだけでも示せないか。

答 企画財政課長 政策体系にもとづき作り直すには、各課で予算を事業別に仕分けし、担当でまとめあげる作業をしなければならず、かなりの労力を要する作業だが、令和6年度に向けて努力していきたい。

問 財政状況は依然として厳しい状況に変わりがないということ

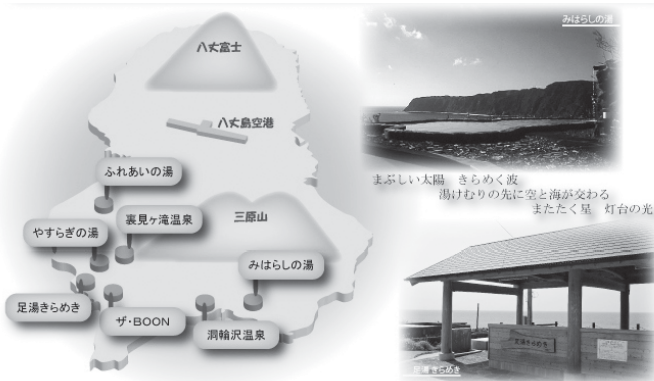
とが示されているが、どのように示しているのか、具体的なデータを使いながら住民にも示していないか。水道料金改定については、住民の意見を聞くプロセスも経た上で、最終的な案を作成・提示すべきと考えるが。

答 企業課長 過去の改定時同様、全員協議会など議会に諮った上で本会議に改定案を上程しており、事前に住民説明会などをすることは考えていないが、条例案が可決した場合には、施行までに半年の期間があるので、これまで行うことがなかった住民説明会を開催し、水道事業の現状なども含め、説明・周知していきたい。

問 町長 住民向けの説明を先に行うという点については、金額が独り歩きしてしまうなどの懸念もあるが、考えていきたい。

地域資源である温泉の活用について

問 地域資源である温泉施設について、施設の採算、福祉・観光施設としての温泉の位置づけ、今後の方針は。温泉施設がある坂上地域だけでなく、住民全体に対し、温泉の活用目的、住民が収益化に積極的であるならば、島外事業者も含め、事業化のアイデアなどを募り、町政



八丈町ホームページより

への住民参加の機会としての意味合いを含め、合意形成の取り組みを行うべきではないか。

答 福祉健康課長 各施設の採算については、コロナ禍の影響のない平成30年度と31年度で見ると、平成30年度総計で赤字額が約7千万円、平成31年度で赤字額が約8千万円。町の財政にとって大変大きな負担となっていて、各施設の故障の際の予備のポンプ確保なども困難な状況。組織や事業運営の考え方、八丈町の住民全体への温泉の活用方法など、議会と相談しながら柔軟に対応していきたい。

問 副町長 令和6年の町制施行70周年の時には温泉事業がちょうど30周年になり、令和5年度に町制施行70周年のメニューづくりをする中で、温泉の関係についてもアイデアを募集するということはありうると考えている。住民からの広い意見を取り入れながら、この温泉という限りある地域資源をどうやって活用していくか、そういったところの検討をしていきたいと考えている。



議員 巧 たくみ  
山下 やました

## 多目的ホールの有効利用 について

○町庁舎に併設する多目的ホール「おじゃれ」は平成25年に落成し庁舎とともに10年目を迎える。おじゃれホールは、教育、文化、集会、避難所として全国的にも誇れるグレードの高い多目的ホールである。この建設には多額の予算が投入され、ランニングコストも年間かなりの金額がかかると聞いている。担当職員の休日出勤、時間外残業は本来の行政サービスにも支障が出ると懸念され、この10年間の供用で使い勝手の改善も求められている。ホール技術者の不安定な雇用依頼も含め、指定管理や業務委託でコストを削減

し、使いやすいホール運営で島の活性に繋がりたいが、町の考えを問う。

○教育課長 ホールの供用開始時、民間委託を検討したが、引き受け団体はなく現在町職員が運営し、技術者が必要な時はイベント主催者に確保してもらっている。職員負担を減らす運営体制の確立と民間委託を視野に進めていきたい。

○ランニングコストの削減をして町の負担を軽くしてほしいが、いかがか。



おじゃれホール

○ランニングコストの半分は空調によるもの。現状は24時間運転しているが、止められる時期がないか検討している。

## 給食費の無償化について

○ウクライナ情勢や世界的エネルギー問題に起因する食材費の高騰は学校給食に限らず生活の負担となっている。本来食材の高騰は給食費の値上げを検討するところだが、保護者の負担軽減に向け、給食費の完全無償化をお願いしたい。子育て世帯の家計を圧迫する給食費の無償化は子育て支援、少子化対策、移住定住の促進に大きな効果が期待される。町の対応を問う。

○教育課長 昨年の八丈町給食センター運営審議会において、今後も食材費の値上がりが見込まれるが、子育て支援のため値上がり分を給食費に転嫁せず町負担として据え置くことが望ましいとなった。無償化は3000万円を超える負担増となる。財源の継続的確保が課題で国、都が子育て支援策を打ち出しているところであるので、そ

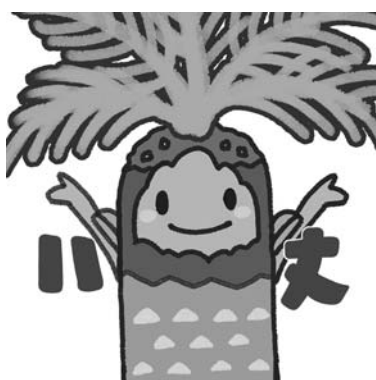
の動向を見ながら無償化について引き続き検討したい。



給食の1例

○町の財源の余力にかかっているが、厳しい状況である。改善していかなければならないと思うがどうか。

○給食費3200万円にプラス15%の町負担で約4000万円と、給食センターの維持費を含めると膨大な金額になる。すぐに無償化はできないが、国、都の動向を見ながら検討したい。現在島しょでは御蔵島、三宅島、利島は無償化しており、23区内では13区が令和5年度から無償化を予定している。



## 都立青鳥特別支援学校八丈分教室の卒業後は



おきやま のぼる 議員  
沖山 昇

都立青鳥特別支援学校八丈分教室は、3年目を迎えようとしている。分教室の生徒の皆さんが考えた「ロベレニくん」が、町ホームページや広報はちじょうでよく見かけるようになってきた。令和5年度、1期生は残り1年で将来の職業生活、社会自

立に向けて学び、卒業となる。

● 1期生が卒業する際のサポートはできないか、もしくは進めている取り組みはあるか。

○ 福祉健康課長 卒業後の就労は大切な課題と認識している。就労について町に一つある就労継続支援B型事業所と話し合いを持った。また、分教室では島内関係者に教育内容の周知と職場体験や現場実習の受け入れに関する理解や啓発を図るため、昨年7月の学校見学会の開催と東京しごと財団への就労支援委託など積極的に行っている。



ロベレニくん

る。町は分教室から依頼のあった卒業後の個人への日常でのフォローと、都と連携して高齢者、障がい者、生活困窮者、生活保護者の方を対象に町独自の農福連携を進めたいと考えている。

## 空き家調査について

● 町の人口と世帯数の減少にともない、空き家がさらに増えたように感じる。調査の状況、調査した家屋で使用できないと判断された家屋について、わかれば教えてほしい。

○ 企画財政課長 調査は令和3年度に実施、令和4年1月に報告を受けている。即利用可能な物件は60棟、修繕により使用可能な物件は57棟、大規模修繕が必要な物件が125棟、計242棟。大規模修繕が必用な物件中、現状使用できない物件が81棟。

今年度からNPO法人八丈島移住定住促進協議会に委託し、企画財政課に移住定住支援員を置いた。所有者の意向調査を実施し空き家を今後活用したい。

● 明らかに住めない家屋について、強風で飛散し通りかかった人や他の建物が被害を受けることが考えられる。所有者に撤去を促す働きかけはできないか。

○ 総務課長 空き家やコンクリートブロックなど危険な物の情報は最近増えている。確認し必要がある所有者に勧告している。島内在住者はいち早く対応する方もいるが、所有者が島外や不明な場合が問題。所有者の理解が一番重要となる。



あさぬま たかあき  
浅沼隆章 議員

## 町制施行70周年事業の内容と方針を問う

〔問〕令和5年第一回八丈町議会定例会で町長から施政方針が示されたが、その中で町制施行70周年記念事業の立案を行い、町民の皆様とともに祝いし、未来に向けた記念の年にするため、令和5年度に各種行事などのメニュー作りを行うと話があった。町制施行70周年を令和6年度に迎えられることができるのは大変喜ばしいことだが、財政状況が依然と厳しい状況の中、お祝いをするためだけの事業にすることはできないと認識している。また、ほかの事業に転用できる事業などを行っていただきたいと思う。

そのことを踏まえたくうえで質問する。行事などのメニューづくりのスケジュールは。

〔答〕総務課長 スケジュールの詳細については新年度に入ってから早い段階で決めていきたいと考えている。メニュー作りにあたっては、町民の皆さんからの意見を取り入れるため、記念事業のアイデアを募集する。また町民だけでなく、関係機関にも記念事業にあたって意見をうかがう。

〔問〕地域経済が疲弊している中、物価高の影響により、食料



品から生活物資、農業の肥料にいたるまで、ほぼすべてのものが値上がりしている。また、輸送費のコストがさらなる価格の上昇を引き起こしている。そのような中でも八丈町に持続的に住み続けられるように考えて行

### 八丈町歌（八丈町の歌）

碧い宇宙に 恵み豊かな 燃える太陽 心やすらぐ 希望と笑顔に しあわせ彩る	抱かれて 海と島 育むいのち わが郷土 満ちあふれ 八丈町よ	作詞 保岡直樹 作曲 高橋一美 編曲 佐久間ともか	緑さわやか 花は優美な 紡ぐ歴史に まねく旅人 大空みあげて 平和を奏でる	フエニックス ストレッチア 続なす文化 湯の香り アカコッコ 八丈町よ	熱い鼓動を 夢が燦めく ごらん元気に 虹を描いて 力を合わせて 未来へ躍進	はずませて 風と波 羽ばたく魚 春を呼ぶ たくましく 八丈町よ
--	---	---------------------------------	--	--	--	--

八丈町町制施行60周年記念事業で実施された子供議会の風景（上）と、同事業で公募して制作された町歌（右）

動していくことが、町の仕事であると考えられる。財政健全化やエネルギー、水資源、防災、人材などの確保、流通、産業活性化、社会福祉、教育など八丈町に住み続けるために今まさに課題とされている内容を解決するためのきっかけの事業にしたい。ただきたいと考えている。町制施行70周年という節目の年をきっかけに持続可能な社会を実現するための事業を行うことが可能であるか町の方針をうかがう。

〔答〕持続可能な社会については、八丈町基本構想でも持続可能な開発目標への理解を深めながら八丈町の将来の展望を描くとしており、町のさまざまな事業の中で意識して取り組むことで、持続可能な社会の実現に寄与できるものと考えている。町制施行70周年事業として、町民皆さんの意識の醸成、日々の生活の中でできる持続可能な社会への取り組みなどについて検討していく。また、議員の皆さんからもご意見をうかがいたいと思う。





いわさき ゆみ  
岩崎由美 議員

## 八丈島の再生可能エネルギー事業の今後は

地域の食とエネルギー自給率向上は最大の安全保障と考える。

☑ 地熱発電所の稼働時期が不透明な中、その他の方法で再生可能エネルギーによる発電を行う考えはあるか。

☑ 企画財政課長 環境省の地域脱炭素ロードマップにおいて目標値が定められており、町でも実行計画の策定に向けて進めているが、地熱発電所のためにもあり早急にはいかない状況となっている。

☑ 再生可能エネルギーの技術は日々進化している。島内事業者で開発された蓄電池活用も注

目に値する。既存のシステムにとらわれないものも検討するべきと考えるがいかがか。

☑ 計画の策定にあたっては、さまざまな方面からの検討が必要と考えている。また蓄電池導入については地熱開発事業者が地域貢献策のひとつとしてあげているので、町も一緒に取り組んでいきたいと考えている。

☑ 再生可能エネルギーの推進をしていく上で、住民参加の仕組みがつかれないか。

☑ どういう形でご参加頂けるか検討した上で、考えていきたい。

## 八丈町における外国人の土地所有状況は。また「重要土地等調査法」とは

現在の日本では外国人による土地不動産購入に規制がないため、大規模なリゾート開発、水源開発などの乱開発が懸念されている。

☑ 八丈町において、現在外国の方が所有する土地などの不動

産は。また面積は。

☑ 税務課長 外国に住所を有し町の不動産を取得され固定資産税を払っている方は1名。日本に住所を有し固定資産税を払っている方は、おそらく10名程度。外国系の法人が町の不動産を取得している事案は1件。面積についてはここで申し上げることはできないが、水資源開発などに影響を及ぼすようなこととはないと考える。

## 「重要土地等調査法」の理念、目的は。

☑ 企画財政課長 重要施設周辺内の区域内および国境離島などの区域内の重要施設などの機能を阻害する行為が行われていないかを調査し、領海などの保全や安全保障に寄与することを目

**内閣府よりお知らせ**

「重要土地等調査法」<sup>(注1)</sup>に基づき、  
**令和5年2月1日(水)に、「注視区域」・「特別注視区域」の指定が施行されました。**

(注1)正式な法律名：「重要施設周辺及び国境離島等における土地の利用状況の調査及び利用の規制に関する法律」

【重要土地等調査法について】

- ◆ 国は、重要施設（防衛関係施設等）の周辺おおむね1,000mの区域内及び国境離島等の区域内の区域を、「注視区域」「特別注視区域」として指定します。
- ◆ 区域の指定が施行されると、その区域内で重要施設等の機能を阻害する行為（機能阻害行為）が行われていないが調査します。
- ◆ 機能阻害行為が確認されましたら、土地や建物の利用者に対し、機能を阻害する利用の中止等の勧告・命令を行うこととしております。

お住まいの地域が「注視区域」「特別注視区域」として指定されているかどうかは、この帖子に申し込まれている図説をご参照ください。なお、より詳細な図説を、内閣府のホームページ（4ページに記載）に掲載していますので、あわせてご参照ください。

広報に折り込まれた内閣府のチラシ

的に制定されている。

☑ 八丈町へは意見聴取があったか。

☑ 10月にメールと文書で頂いている。内容は将来の市街地化などの計画や、見込みに関する情報、高層建築物の建設計画などの有無だったので、特になしと回答。

☑ なぜ八丈町が、また当該エリアが指定されたのか。

☑ 領海などの基線を有する国境離島のためと思われる。

☑ この件で、住民の方からの質問はあったか。

☑ 住民の方からの質問は1件もなかった。

(予算審議で再確認した事項)

☑ 軍事的な施設と関わっているのではと心配する住民もいるが、それとは関係ないと断言できるか。

☑ あくまで基線があることが理由であり防衛面とは直接的には関係ない。



おくやま さちこ 議員

### 特別支援学級を継続させるための町の対策は

都立青島学園八丈分教室は、令和3年4月より3年間のモデル事業として実施された。令和5年度で一期生が3年目を迎える。この支援学級の誘致を要望した際、東京都の元教育長に、生徒の就労については町の仕事になるといわれた。

現在進級予定の3人に対して、町としてどのような就労支援ができるか町の考えをうかがう。

問 さまざまな事業所に対して就労支援を働きかけているか。

答 福祉健康課長 生徒の日常生活支援を行っているほか、事業者に対しては職場体験の協力

や学校見学の説明を行っている。

問 学校見学に事業所はほとんど参加していない。仕組みをつくるべきだ。

答 事業所への働きかけも重要だと思うが、まずは本人と家族の希望が大切。

問 町として雇用する考えはあるか。

答 総務課長 町が受け入れるには、労働環境を整えなくてはいけないと考える。

問 町が雇用する考えがあるかを町長に問う。生徒は八高の制服を着て、カリキュラムに従って学び、イベントの一部を共有し、青春を経験する。人の成長にとって大切な時間を提供することは行政の役割と考える。

答 町長 雇用の考えはある。ただ、労働環境と時間や補助員の手配など町の負担もある。まずはそこから整えていきたい。

### 八丈島の戦争遺跡の保存について

約2年前に、私は八丈島の戦争遺跡の保存について質問した。一つは平和教材としての戦史・戦跡の継承の意義について、一つはポイントを絞った戦跡の保全が可能かを問うた。当時、町の答えは前向きで期待していた。しかしその後、特に戦跡の保存については、文化財専門委員会は開かれず、所有者の確認もされないまま2年あまりが過ぎていく。町の姿勢に疑問を持たざるをえない。

問 その後の進展状況はどのようなものか。

答 教育課長 戦跡についてはさまざま課題はあるが目的絞つての保存は可能と前向きな回答をした。その後手を付けられていない。申し訳ない。歴史民俗資料館の事業が停滞している、入札不調などによる事業の遅れのために国庫補助も危ぶまれる状況であり、そちらを優先的に取り組まざるを得なかつ

た。戦跡の保全については、まずはVRを使ってデータを残す方向で検討したい。

問 専門委員会はオンラインでもできたはず。前向きな答えをしたことに対して、教育長は責任ある行動をとってほしい。

答 教育長 職員の減員、精神状況への対応などに、入札不調による工事の遅れが加わり、組織体制の立て直しが必要となっている。歴史民俗資料館の事業を進めることに集中したい。戦跡については、サステナブル宝島との連携でVR化を計画している。





やましたのりこ 議員  
山下 則子

## 島内の廃墟と化したホテルについて

〔問〕現在、島内には20年以上不使用のまま放置されているホテルが、三根・大賀郷・榎立にそれぞれ1棟ずつ合計3棟ある。

住民の方からは、有効利用できないかとか、雨の日に観光客や町民が楽しめるようにして欲しいなどさまざまな意見をうかがっている。そこでうかがう。3棟から税金の徴収はできているのか。

〔答〕税務課長 個人情報のため回答は差し控える。

〔問〕それぞれの施設をこのまま放置しておくのは、防犯上も建物自体の安全上も非常に危険で

あると考えるが、町はどのように考えているのか。

〔答〕景観上、防犯上問題があると認識している。都と協議してきたが、個人の所有物ということで、難しい問題と捉えている。今後も解決に向けた取り組みを都と一緒に考えていく。

〔問〕以前より公明党の国会議員や都議会議員に廃墟ホテルの問題も相談していたが、今回都の令和5年度東京宝島関連経費予算案に「島しょ地域の廃ホテルの撤去などに支援」と題し、取り組み概要として、跡地活用を前提に、廃ホテルの撤去などに取り組む町村を支援する予算があると聞いた。ただ予算を活用するためには、その土地の所有者を町がちゃんと掌握できているのか、所有者不明土地であるならば町は追跡調査しているのか、などが必要となるが、町は所有者の掌握などできているかうかがう。

また、跡地活用については、ぜひとも広く町民の意見を聞いて利用について考えるべきであ

らと思うがいかがか。

〔答〕所有者については難しい問題。登記簿上と実際の交渉相手が変わっていたり、所有者が行方不明だと追っていけない。20年間やってこなかったものが、やっと動き始めた。

## 物価高騰キャッシュレスポイント還元事業について

〔問〕昨年11月、物価高騰による家計応援事業として2万円使って6千円分キャッシュバックされる事業があった。皆さんとても喜んでお買い物しているよう

だったが、たった11日間で終了してしまった。そのため、1カ月で2万円以上使えばよいと勘違いされていた方から、6千円分のキャッシュバックを受け取れなかった、との不満の声があった。今後さらなる物価対策で、同じような事業を行う場合、一人でも多くの町民が恩恵を受けられるようなものにしていただきたいと考えるが、いかがか。

〔答〕産業観光課長 想定よりかなり早く終わってしまったと思う。事業終了をお知らせし、各店舗では混乱もなかったと聞く。以前の1万円使って3千円のキャッシュバックも今回の2万円使って6千円のキャッシュバックも、上限は変わっても還元率は30%で変わっていない。ただ、気持的には理解でき

キャッシュレスでお得!  
八丈町 × Edy × J-Coin  
八丈町の楽天Edy加盟店およびJ-Coin Pay加盟店にて  
楽天EdyまたはJ-Coin Payでお支払いすると  
お支払い金額の  
**最大 30%還元**  
6,000円相当  
付与されたEdyの受取期間: 2022年12月15日(木) ▶ 2023年1月31日(火)  
J-Coin Payアカウントへの還元日: 2023年1月20日(金)頃  
キャンペーン期間  
2022年11月1日(火) ▶ 2022年12月31日(土)予定  
詳しくはキャンペーンページから 八丈町 キャッシュレス還元

物価高騰キャッシュレスポイント還元事業のチラシ

る。

## サステナ事業に異論噴出

かつては、一人の反対が出ることはあってもいつも賛成多数で予算案は通っていた。しかし、今議会の令和5年度の一般会計予算では、東京宝島サステナブルアイランド創造事業（以下サステナ）についての事業の進め方や不十分な説明に対して異論が噴出した。要望した再度の説明に対してもなお納得できないことがあり、反対を表明する議員が複数出たため討論が行われた。結果として、原案通り予算は成立したが、言うべきことは言うのが民主的な議会だという思いから、反対・賛成それぞれが意見を述べた。

## 【反対討論】

**真田幸久議員** サステナに関して、委託事業ということで、予算書上では内容がわからない。全員協議会や勉強会での説明もあつたが、実証事業や実装事業の割合など詳細内容が示されておらず、質問しても回答が得られなかった。事業自体は、東京都の5億円全額負担で事業を行えることから、是非とも進めたいということには反対する意思はないが、内容についてきちんと判断できる材料が示されていない以上、一般会計予算案

全体についても、賛成することができない。

## 【賛成討論】

**奥山幸子議員** 予算には賛成する。サステナについての町の説明を聞いて残念に思うことは、各課長や職員と情報が共有できていなかったことだ。それができていれば、職員のやる気も考えも出てきたと思う。ただ、予算を通さないことによる弊害が大きいので賛成する。個々の事業については、来年度の議論の中で改善できる点は

していきたい。

## 【反対討論】

**金川孝幸議員** 予算案全てに反対

## 東京宝島サステナブルアイランド創造事業とは

東京都が実施する事業で、島しょ町村の意欲的な公民共創の取り組みを支援することを通じ、島しょ地域の課題を克服し、持続可能な地域社会を創出するという目的で、事業期間が令和4年度から3年間、補助上限5億円、補助率は100%の事業。みずほフィナンシャルグループと協定を結び進めてられており、デジタルを活用した各種活性化事業や社会インフラ整備などの課題解決を図るというもの。

【事業内容】「防災・減災DX」「行政DX」「水産業DX」「観光DX」「データ利活用」の5つの分野でDXを推進していくことが掲げられている。例えば「防災・減災DX」では雨量計などの防災IoTセンサーの設置、定点カメラの設置などがあげられており、各分野でそれぞれ計画されている。

するものではない。サステナについては説明を聞いたり勉強会を開いたりしても納得できない部分がある。多額な予算のうち、八丈町に直接的、間接的にも還元される額が少なすぎると思う。また、時間が少ないから、町の職員は忙しいからと、関連部署と情報の共有やコミュニケーションが図られていないので、本予算案には賛成できない。

## 【賛成討論】

**岩崎由美議員** サステナブルというのは持続的という意味だが、この事業で島が本当にサステナブルになるのかについては疑問があつた。3年前からキャッシュレスについてみずほと連携しながらやってきたのであれば、もつと庁内でのいろいろ議論する時間もあつたはずで、反対意見にも賛同する部分もある。一方、この中で、たとえば防災関連のデータ情報一元化など、防災上重要な事業もあげられている。流動的な部分については議論を重ねながら進めてほしい。八丈町としては東京都の関係性も大切であるという面からも賛成する。

(次ページに続く)

【反対討論】

浅沼隆章議員 サステナ事業のみに対して反対する。東京都が八丈町に3か年で5億円をつけてくれることに感謝している。しかし、実施内容が決まった経緯が不透明であり、どのように5億円の予算積み上げができたのか疑問が残る。住民に対して説明できない。賛成するか反対するか、判断ができない状況にある。事業の内容の要点を絞って、しっかりとした計画を作る必要があったと思う。町には予算をかけ地域の意見も集約した八丈町基本構想・基本計画がある。なぜ、基本計画に記載している内容に沿った形で実施事項を決めていかなかったのか、その課題解決のために予算をなぜ使わなかったのか、納得できる回答がなかったため、反対する。

【採決の結果】賛成多数で可決

(賛成8、反対1、棄権2)

賛成 奥山幸子 浅沼清孝 山下則子 冲山昇 岩崎由美 浅沼碧海 山下巧 浅沼憲春  
 反対 真田幸久  
 棄権 浅沼隆章 金川孝幸

【一般家庭での1カ月の水道料金の例】

八丈町ホームページより抜粋した新旧水道料金の比較

メーター口径	13mm	13mm	13mm	13mm	20mm	20mm	20mm	20mm
使った水の量	10m <sup>3</sup>	17m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup>	10m <sup>3</sup>	18m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup>
水道料金(新)	2,156円	3,311円	3,806円	11,726円	2,310円	3,630円	3,960円	11,880円
水道料金(旧)	1,628円	2,744円	3,223円	10,813円	1,705円	2,981円	3,300円	10,890円
比較	528円増	567円増	583円増	913円増	605円増	649円増	660円増	990円増

一般家庭の水栓の約95%が口径13mm(平均使用水量17m<sup>3</sup>/月)または20mm(平均使用水量18m<sup>3</sup>/月)です。

値上げには納得も 住民への説明が必要

八丈町給水条例の一部を改正する条例

水道料金の値上げに係わる条例改正は、令和5年度一般会計同様、条例の内容について反対しないものの、住民に説明が必要ななどの観点から質疑、討論があった。

【質疑】

金川孝幸議員(6番) 今後の安定した水道事業継続のため納得できる案だと承知している。金額などではなく住民に説明を果たしてからの条例改正ではないか。時期をずらすことも検討した方がよいのでは。

浅沼隆章議員(2番) 料金の値上げについては賛成。ただコロナの疲弊、物価高騰の中、一番はまず住民の声を聞くことが大事ではないか。議会で可決してから住民への説明は現代では通用しないのでは。

【反対討論】

真田幸久議員 2番・6番議員が指摘した点から反対。主な点は手続上の問題。住民への影響が大きい。まずは住民に町としての案を提示し、なぜその案になったのか。

か。プラスマイナス双方の要因を説明した上で、それに対する意見をパブリックコメントというような形で募り、町としての回答も住民に示すべき。その過程の中、おそらく住民から議員にも意見が伝わり、その内容も踏まえ議員はさらに深い判断が可能になると考える。以上から、当条例に関しては今回の議会においては、反対をしたい。ただし、2番・6番議員も指摘しているように、値上げ自体は必要と考えており、あくまでタイミングの問題、手続きの進め方の問題という点で反対する。

【採決の結果】賛成多数で可決

(賛成6、反対5)

賛成 奥山幸子 山下則子 冲山昇 岩崎由美 浅沼憲春  
 反対 真田幸久 浅沼隆章 浅沼清孝 金川孝幸 浅沼碧海

「春一番」。冬から春へと季節が移るころに吹く冬とは異なる風向きの強風のこと、春の到来を告げるものです。議会においても、今後、議会の運営の仕方などを変えていくような、これまでとは違う風を吹かせていくことになると思います。

春に咲く花を散らしてしまうような、あまりに強すぎる風とならぬよう、それでも異なる風向きにはなるように、できるだけ心地の良い「春の到来」にしていきたいと思います。そして、住民の皆様の町政への参加を促すことにつながるよう、「議会だより」の内容の充実も図っていきます。(真田幸久)

発行人 八丈町議会議長 山本忠志  
 編集 議会だより編集委員会  
 委員長 奥山幸子 副委員長 山下則子  
 委員 真田幸久 浅沼碧海  
 〒100-1498  
 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2  
 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437  
 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

すずきじゅんぺい

鈴木淳平さん カルディアファーム代表

カルディアファームでは、明日葉栽培と鶏卵生産が行われています。お父さんが神津島出身ということで縁があったこともあり、当初は明日葉づくりが目的で移住したとのこと。三重県伊賀の農業法人にて米やアスパラガスの生産に1年半ほど従事した後、港区にある農業経営大学にて2年学んだ際の講義実習での養鶏が、鶏卵生産につながっているとのこと。鶏卵は今のところ全量ホテル向けですが、一般の方への販売もできるようになればとのこと。

八丈島の良いところとしては、自然豊かで、関係性において内地の地方に比べて開放的であることだそうです。一方、改善が必要なこととしては、家探しの難しさ、そして多くの田舎暮らしではメリットとなるはずの家賃が高いことだそうです。また、養鶏の飼料が島内では確保できないことから内地から購入しなければならず、その運賃の高さが問題とのこと。

運賃の高さ、配送手続きの煩雑さは、生活・事業面双方で島民全体にも関わる大きな問題ですね。(真田幸久)



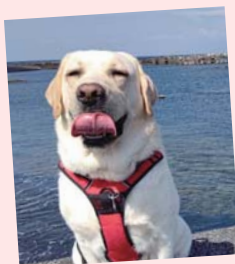
移住者の声  
 来てみりゃ  
 八丈は...

たにくちりょうた

谷口涼太さん (33歳)

2022年リラクゼーションサロン「ほぐしのたにやん」開業

移住のきっかけ 愛知県名古屋市出身の谷口さんは、田舎暮らしへの憧れがありました。「地続きだと心が折れた時にすぐに帰ってしまう。」と考え、海を超えた田舎への移住を希望したそうです。水の豊富な場所を求め、隠岐島と八丈島をピックアップ。検討の結果、島の温かさに惹かれ2019年2月に八丈島へ移住しました。



島での仕事 移住後は社会福祉法人養和会やリードホテル&リゾート(株)に勤務しながら勉強を行い、2022年10月よりリラクゼーションサロン「ほぐしのたにやん」を開業。現在は出張サービスをメインにリラクゼーションを行っています。  
 島での暮らし ラブラドルレトリバーの「幸助」と過ごしながら、休日は趣味のモリツキやキャンプなどをして島暮らしを楽しんでいます。

今後の展望 今後は店舗を持つための展開や、ストレッチなどの勉強を行い「島の健康の一端を担いたい!」と高い志を持ち日々業務に励んでいます。(浅沼碧海)

